

上田卸団地だより

編集・発行 上田卸商業協同組合 〒386-0041 長野県上田市問屋町510-2 TEL 0268-22-6649 (代) FAX 0268-22-6714
URL : http://www.ueda-oroshi.or.jp/ E-mail : info@ueda-oroshi.or.jp

再整備に向けて これからの進路は

理事長 丸山 正一

新年明けましておめでとうございます

一昨年5月に前理事長 小山啓氏の後任として就任以来、「組合員のための組合」という考えを基本に運営に当たって参りました。

幸い高橋・桑原両副理事長の理解と協力を得て、組合の運営はほぼ順調でありましたが、組合員企業の経営状況は長引く消費の停滞で、依然として厳しい状況が続いております。

先進団地はいま・・・

昨夏以来、岡山、高崎、沼津、横浜などの卸団地を訪問してきました。訪問して感じたことは、若い人達が集う街は賑わいが感じられましたし、居住人口の多い地域には、同様に活気があります。

した。地域の発展、流通構造の変化に伴い、いまでは、卸団地は特別な地域という考えは無くなりつつあります。

岡山卸センター

本年の役員研修で訪れた岡山卸センターの理事

長さんのご挨拶で、「全国各地から多くの団地の役員などが見えるが、団地の再開発というものは、本当にやる気のある人だけが死に物狂いでやらなくてはだめだ。」と言っておられました。

岡山と上田では、組合設立以来の運営が、まちづくり協定や小売業や飲食サービス業をはじめ、



不動産賃貸業も組合員と認める定款変更など、よく似ている歩みをされておりました。

事業運営では、予算配分など見習うべき点も多くあり参考にすべきだと思います。

不動産賃貸業は、卸売り以外の業態の企業へ貸すことにより、幅広く街づくりに関与しているようです。

団地内には、しゃれたレストランやヘアースalonなどが出店しており、乳母車を押す若い女性の姿が見えるなど、街の活気が感じられました。

沼津では、卸団地の直営のスーパーマーケットが地元客の支持を得ている現状を見聞きし、卸団地共通の課題である活性化を進めるには、最終的にはそれに当たる「人」と

いうことに尽きるとの思いが強く感じられました。以上の通り、各地の組合を訪問しましたが、上田卸団地の運営は、他の団地と比較しても、良い点が多くあります。組合員の理

解と協力で、各種の事業がスムーズに展開されており、役員意識も非常に高く、決算も堅実内容であります。

将来に備えよう

組合の有するハードの面では、共同施設である、倉庫・会館その他の建物も老朽化しており、近々改築または補修が必要になります。

ソフト面では、事業については、その必要性和経費対効果などを検討して、予算配分なども見直しが必要でしょう。

次年度は、事業全体の見直しに伴い、娯楽的なものや一部の厚生事業などについては、参加者負担の原則を順次取り入れていきたいと考えております。

これからの上田卸団地の進むべき方向は、「まちづくり協定」などを基本におき、上田市の西部地区の新たな賑わいの拠点を目指して欲しいものです。

初夢のような・・・

個人的な発想ですが、

一地震や水害が無い上田地域の特性を活かし、コンピューターのデータバックアップセンターの誘致などはどうでしょう。

二降雨量が全国で最も少なく、晴天日の多い気象特性は、太陽光発電に適しているでしょう。新エネルギーへの挑戦を考えてはどうでしょう。

三上田市は観光都市を標榜しているが、バスの団体客を受け入れる食の提供場所が少ないので、美味しく、いただけの飲食センターは、市場との連携で十分見込みがあると思います。

など、何を指すのかは、青年部などの若い人達の英知と実行力に期待しています。

来年の秋、上田卸商業協同組合は、昭和39年に設立して以来、創立50周年を迎えます。

この記念すべき節目の年を、新たな方向への再挑戦の年にしようではありませんか。

保存版

■上田卸団地案内図

平成25年1月現在

卸団地入口 至 小諸

秋和簡易郵便局



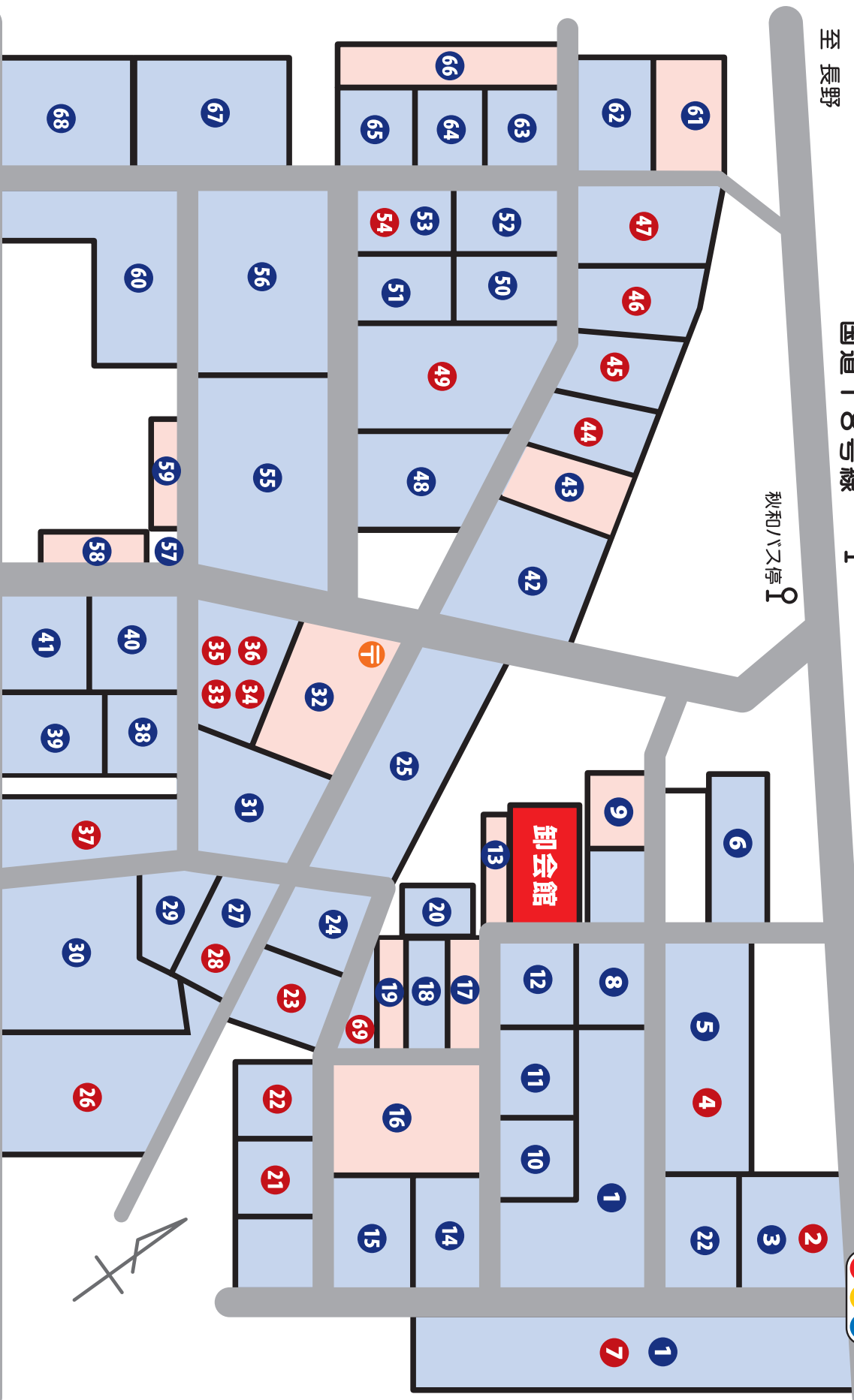
信号

国道18号線



至 長野

秋和バス停



至 長野

県道秋和上堀線

至 上田駅

組合員名簿

社名	電話番号	業種	番号
石森(株)	22-6237	総合ギフト・販促用品	27 62
(株)伊藤商会	24-3337	石油製品・肥料・セメント	31
(株)岩野商会	27-7734	室内外装資材・設計+施工	8
上田冷蔵(株)	22-0763	冷蔵倉庫業・製氷販売業	48
(有)オガワ商店	22-2131	包装資材卸	63
(有)折真	22-1957	包装資材卸	10
(名)加藤商会	29-1500	不動産賃貸	53
(株)協和食品	22-0335	乳製品・缶飲料・パン卸	40
(有)小池折箱店	22-1657	折箱製造・包装資材	65
(株)スヌテムプラン	27-3116	情報処理サービス業	20
信越定期自動車(株)	22-2346	貨物自動車運送事業	50
諏訪冷蔵(株)	22-0473	冷蔵倉庫業	67
(有)田中包装	24-3636	紙器段ボール箱化粧箱	29
田辺商事(株)	22-6155	文具・紙製品・事務用機器	18 24
千代田電資(株)	24-2135	電気絶縁材料卸	52
(株)デンゼン	27-8131	電設資材・OA、FA機器	5
東信食品(株)	26-8686	信州ハム製品	22
(有)中津屋商店	24-3147	酒粕卸	51
長野県連合青果(株)	23-5525	青果卸売市場	1
(株)長野光商事	22-6705	和洋家具卸	6 15
(株)奈良良屋商会	22-0264	自転車・自転車部品	38 39
(株)新村	22-6279	包装資材・樹脂加工・卸	30 68
(株)メルイ子産商	0267-67-6701	地方卸売市場	56
(株)丸正食品	22-2246	一般食品卸	14
(株)丸水長野県水	23-2200	地方卸売市場	55
(株)丸二	24-8111	紙類・紙製品・事務用機器	60
(株)丸山商店	22-2350	繊維製品卸	12
(株)丸陽	22-2400	文具・事務機器・IT	3
(株)ムラタヤ	24-2121	食料品(砂糖・小麦粉等)卸	41
(株)室屋商店	27-1115	履物・靴卸	11
(株)メダイセオ	22-3510	医薬品等総合卸	42
(株)ユダ	24-5522	繊維製品・清掃資材卸	25 64

賛助会員名簿

社名	電話番号	業種	番号
アート梱包運輸(株)	27-1356	運送事業	26
(株)サニクリーン甲信越	24-7304	環境掃除商品全般	44
サロソ泉	75-5385	呉服販売業	28
(株)信州さがみ典礼	27-4441	仏壇、位牌、他、生花	27 34
信州ハム(株)配送センター	22-7412	食品販売配送業	22
信州民報社	22-7355	新聞社	4
全農チキンフーズ(株)	048-421-1011	食肉販売業	46
創生ワールド(株)	25-9422	創生水販売	69
田辺印刷(株)	22-1492	印刷業	23
(有)ナイー・シー・イー	27-2315	油圧スヌテム設計製作	33
(株)東京コンピュータ	23-1788	情報・データ管理	54
東芝テクノネットワーク(株)	24-1308	家電修理	36
(株)長野広告	22-5412	広告代理店	47
長野合同経理センター	22-6101	会計事務所	45
ナガレイ(株)	26-1522	業務用食品卸	49
(株)ハバリュウ・ブックス	75-9377	IT専門書中古本販売	2
フタミリーマート秋和	28-0122	コンビニエンスストア	37
(有)丸せん	22-2288	不動産賃貸	35
レンゴー青果運輸(株)	26-4600	運輸業	7

共同施設

施設名	番号	施設名	番号
組合事務所・卸倉庫	61	第1駐車場	9
共同倉庫	43	第2駐車場	17
運動場	57	第3駐車場	16
八十二銀行ATM	13	第4駐車場	19
喫茶タソク		第5駐車場	32
		第6駐車場	58
		第7駐車場	59
		第8駐車場	66

2013年頭ご挨拶

副理事長 高橋 牧尋

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には輝かしい新年をお迎えの事と、お慶びを申し上げます。今年も団地運営にご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

昨年の経済は円高による価格競争力の低下や隣国との領土問題から企業の営業活動に影響が出る等、秋以降大変厳しい状況でありました。

新たな出発に向けて

副理事長 桑原 茂実

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

昨年五月に五十年記念事業特別委員会委員長をお受けしました。

30周年では

20年ほど前に開催しました、創立30周年の上田卸団地まつりが思い出されます。

先着千名にプレゼン

我々卸業も少子高齢化が進み、長引くデフレ不況と、流通構造の変化が進み、先が見えない大変に厳しい状況が続いて居ります。



創刊号で、理事長が申しております。新たなまちづくりを目指して、4月から「まちづくり特別委員会」の委員長として、消防音楽隊のパレード、レスキュー隊の実演。各組合員の出展ブースは、各小売商組合に説明会を重ねて実現した、60



張のテントで、まぐろ解体ショーを含めたオープンバザー。新聞折り込みに加え、青年部による駅前で、チラシ配り等の広報。天候にも恵まれて来

て、7人のメンバーと共に5回の会議を開催し、検討を重ねてきました。まちづくり協定は、卸団地にふさわしい企業の招致、当団地の周辺を含む将来の発展を願い、それにふさわしくない施設の設置などを制限するものであります。

秩序ある整備のため、基本的な考え方は、卸団地内の協定として「魅力ある団地」「団地の価値を高める」「人・物・情報」ときめき結節点を目指して行きます。新たに作るのではなく今

場客は約二万五千名、売上高約二千万円と、一大イベントになりました。

50周年では

今回は時節柄、多大な経費を使つての派手な事は出来ません。

5月以来、2回の委員会を開催し、意見を出し合い、記念式典は来年平成26年秋頃で企画していきます。

卸団地だよりの第二号において、丸山理事長は「半世紀の歩みを記録に残し、関係者の皆さんと

迄の「再整備委員会」卸団地上支援事業」で検討してきた原案を、組合員の方々にご理解を頂ける様な内容に修正しました。

現在までに方針、第一章、目的・名称、協定の区域・土地所有者等の債務。第二章施設の基準・建物の用途・建物等の形態の制限まで進んでおります。

3月頃に最終案にまともる予定です。これからも組合員の皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます。

共に祝い、創立時の精神で共同化、高度化を推進して欲しい」と、述べています。

私たちの地方卸売業を取り巻く経営環境は益々厳しくなっています。

この50周年事業を単なるイベントで終わらせることなく「地域社会、関係者各位への感謝と、組合活性化のため」と位置づけて、早々に準備作業に入りはりました。

ぜひ皆様方からの、アイデアのご提供とご協力をよろしくお願い申し上げます。

厚生年金基金のその後の動き

理事長 丸山 正一

前号の10月にご報告申し上げましたが、その後、12月に基金運営特別委員会において、次の通り最終的な答申案が決まりました。

1 基金の現状は56億余の最低責任準備金が必要だが、40億余しかなく、積み立て比率八割以下で「指定基金」に指定された(AIJ)による損害は16億弱)。

2 その結果、健全化計画を国に提出せねばならず、掛金を0・85%引き上げる(加入員一人当たり月額2500円の事業主負担増)。給付減額は加入員、受給者双方に理解を求めていく。

3 今後の基金運営は、運用益は望めないの(国(厚生労働省)の対応を見ながら、なるべく早く代行返上して、基金を解散することが望ましい。

以上は代議員会などを経て正式に決定され、四月から一部は実施の予定。

組合の動き(挨拶)

(会議などの出席状況)

10月5~6日	大感謝祭 会館ホール
10日	十日会 市農政課石井氏他16名
11日	正副理事長会・理事会
11日	八十二銀行ネットEIB導入・役員研修
15日	花壇の植替え 環境委員会11名
18日	秋季健康診断 会館ホール 受診47名
19日	問屋町会 13名
19日	秋季一斉清掃 近隣企業も参加60名
22日	中間監査 監事2名
24~25日	役員視察研修 (岡山県卸センター他) 5名 (商工会議所共催)
11月4日	ゴルフコンペ(丸子C) 35人
7日	厚生年金基金特別委員会 理事長・局長
8日	商団連トップセミナー(東京) 理事長
13日	正副理事長会・理事会 堀内跡地の建物取壊し・新年会日程・職員賞与
14日	中金会経理担当者会(長野) 局長
14~15日	商団連関東ブロック会議 (沼津) 理事長
16日	事務主任者総会(福岡) 局長
21日	問屋町会 18名
21日	まちづくり協定特別委員会 6名
22日	青年中央会上小支部講習会 5名参加
22日	中部電気保安協会講習会 局長
27日	卸売問題懇談会(松本) 桑原・局長
28日	十日会視察研修(東京) 10名
12月4日	冬の花植栽 環境委員会 9名
7日	正副理事長会・理事会 堀内跡地の売却・事業見直しと予算編成方針
11日	問屋町会 11名
11日	長野中金会役員会(長野) 理事長
13日	厚生年金基金特別委員会(松本) 最終答申案決定(詳細は別掲)
18日	まちづくり協定特別委員会 7名
19日	十日会忘年会(えんぎや) 16名
30日	事務局年末年始休業 1月4日まで